

まちづくりの方針（案）ごとの参考事例

方針1 歩行者にやさしいまちづくりの推進（ひとが歩いて楽しいまち）

◇論点◇ どのような空間が歩行者にやさしいまちなのか

視点①：快適な歩行者空間の創出

■参考事例1）幹線道路のトランジットモール化【社会実験】

○社会実験の実施による市民への意識改革、体感の場の提供（京都“歩いて楽しいまちなか戦略”社会実験）

- ・四条通(烏丸～河原町間)のトランジットモール化
- （歩道を現状の約2倍に拡げ、車道は路線バス・タクシーのみの通行に規制）



従来の四条通の状況



社会実験時の四条通の状況



(出典：京都市資料他)

■参考事例2）駅前メイン動線のトランジットモール化による歩行者空間の拡大【整備済み】

○バストランジットモール化による自動車中心の駅前広場から人中心の地上空間へ（姫路駅前広場）

- ・歩行者空間を21%→61%に拡大し市民の憩い空間を創出

【整備前】



【整備後】



(出典：姫路市資料をもとに作成)

■参考事例3）回遊性を高める歩行者ネットワークの形成【整備済み】

○道路空間の再編により、歩行者が約3.5倍に増加（松山市ロープウェイ通り）



整備前



整備後

- 車道の1車線化に伴う道路線形改良
- 電線類の地中化
- アーケードの撤去
- デザインガイドラインによる沿道建物外壁面の整備（店舗看板の統一化等）
- 歩道の美装化
- 道路附属物（照明等）の修景

事業供用後には、地価上昇率（12.6%）を記録

(出典：良好な道路景観と賑わい創出のための事例集（国交省）)

※道路再編による歩行者空間の拡大におけるメリット・デメリット

[メリット]

- ・まち全体のイメージを一新できる
- ・歩行者空間増大、歩車分離による安全・快適性向上
- ・空中・地下の立体動線に関する公共投資等の軽減
- ・沿道施設の収益性や価値向上

[デメリット]

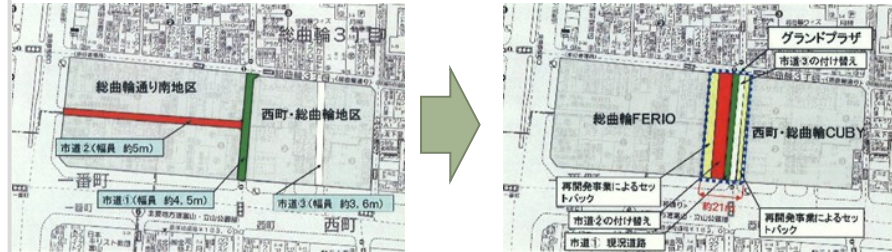
- ・車両制限による周辺道路での交通渋滞発生の懸念
- ・車両での沿道施設へのアクセス性が低下
- ・沿道施設の荷捌き施設・動線の見直し

- キーワード：歩きやすいまち、回遊性、バリアフリー ⇒視点①：回遊性の向上、快適な歩行者空間の創出（バリアフリー）
- キーワード：広場 ⇒視点②：憩い・にぎわい空間、休憩スペースの創出
- キーワード：安全安心 ⇒視点③：地域防災にも寄与する空間整備

視点②：憩い・にぎわい空間、休憩スペースの創出／視点③：地域防災にも寄与する空間整備

■参考事例1）まちなか広場空間の創出（富山グランドプラザ）【整備済み】

○道路付け替え+再開発事業によるセットバックによる広場空間の創出



- ・稼働率100%の公共空間
- ・日常的な市民の憩い空間
- ・消防・防災フェア等の実施



(出典：グランドプラザHP他)

■参考事例2）災害時対応を考慮したイベント広場整備（大分都心南北軸整備事業）【整備済み】

○駅周辺施設の建替えに合わせて駅前に大規模な芝生広場を創出



広大な芝生広場を創出



イベントの状況

- ・災害時対応設備

イベント広場① ホルトホール大分前広場
広場外周部にベンチ、電源設備、給水設備を配置

イベント広場② 南側広場
広場外周部にベンチ、電源設備、給水設備を配置



ヘリの緊急時離着陸場として使用可能

災害時、仮設住宅の敷地とした場合、93戸設置可能（出典：大分市資料をもとに作成）

まちづくりの方針（案）ごとの参考事例

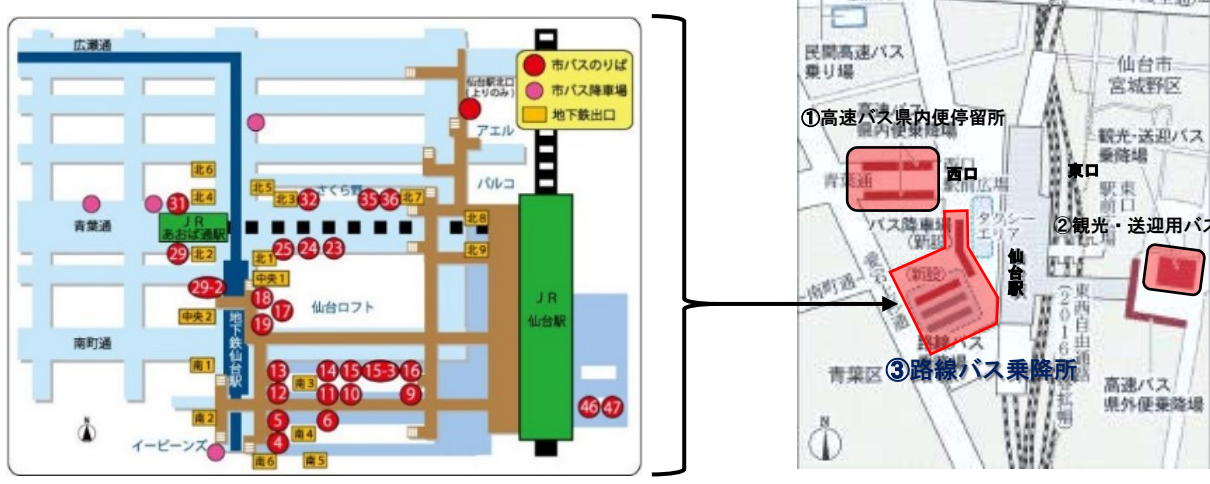
方針2 「駅」=まち わかりやすい交通拠点の充実（ひとが集まる「駅」=まち空間）

◇論点◇ 6つの駅を一体的な「駅」と捉えたわかりやすい駅空間とは

視点①②：バス乗降所の再編・集約化によるわかりやすさの向上

参考事例1 道路上に分散するバス乗り場の集約（仙台駅）

○駅前広場整備に伴い、約40か所に分散する路線バスを駅前広場内に集約



(出典：仙台市交通局、河北新報)

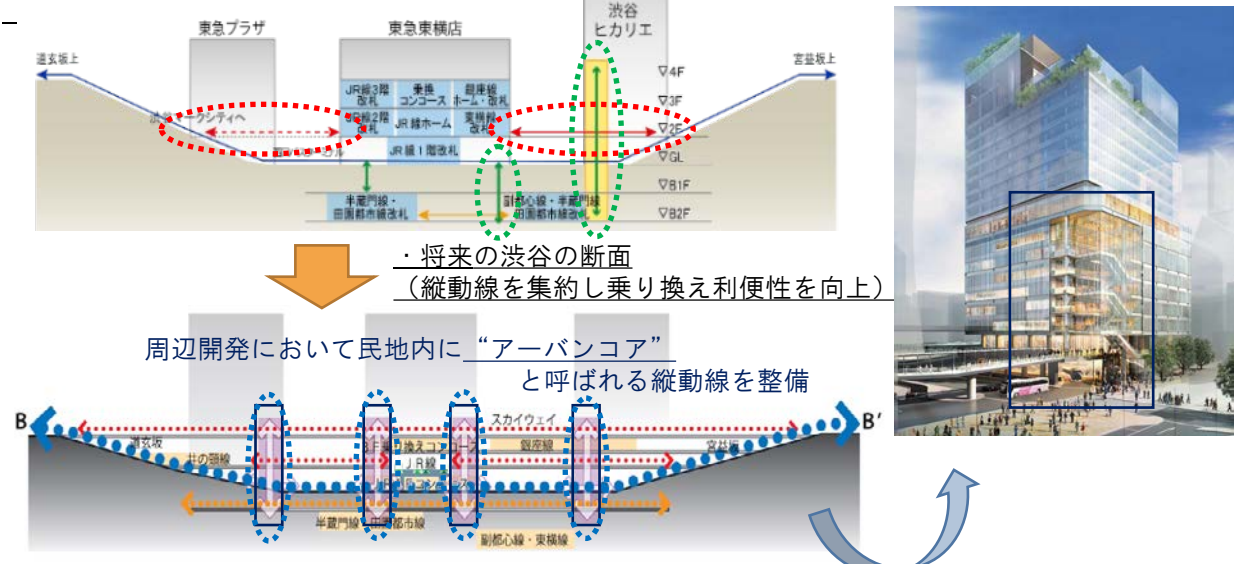
- [JR仙台駅前のバスターミナル整備計画]
- ①高速バス県内便停留所 ⇒西口の青葉通りに(2014年度中)
 - ②県外便や貸し切りバスなどの観光・送迎用バス停留所 ⇒東口バスターミナルに移設(2014年度中)
 - ③停留所が駅周辺の40カ所に分散する路線バス ⇒西口バスターミナルに集約(2015年度以降)

視点①②③：駅前空間の再整備による視認性を確保したわかりやすさの向上

参考事例1 縦動線を集約した視認性の高い「アーバンコア」の整備（渋谷駅周辺開発）

○鉄道駅改変事業に合わせた周辺開発の連携による歩行者ネットワークの強化

・現況の渋谷の断面（複層階に分かれた複雑な乗り換え動線）



・将来の渋谷の断面（縦動線を集約し乗り換え利便性を向上）

周辺開発において民地内に「アーバンコア」と呼ばれる縦動線を整備

(出典：渋谷駅中心地区まちづくり指針2010、東急不動産プレスリリース資料他)

キーワード：わかりやすさ
 キーワード：交通結節強化、バスの集約、新しい交通
 キーワード：神戸の玄関口、駅とまちのつながり

⇒視点①：わかりやすい乗り換え動線整備
 ⇒視点②：交通結節機能の強化、バス乗降所の再編・集約化
 ⇒視点③：神戸の玄関口としての拠点形成
 「駅」=まちによる他都市にはない駅前空間形成

視点①③：わかりやすく、駅周辺で統一された案内サインの整備

参考事例1 市内で統一されたデザイン性の高い案内サイン（ロンドン）

・広域マップから方向指示サインまで詳細にマニュアルにて色や形状、デザインが決められている
 ・異なる交通モードやまちなかの歩行者用サイン、携帯用観光マップまでを統一



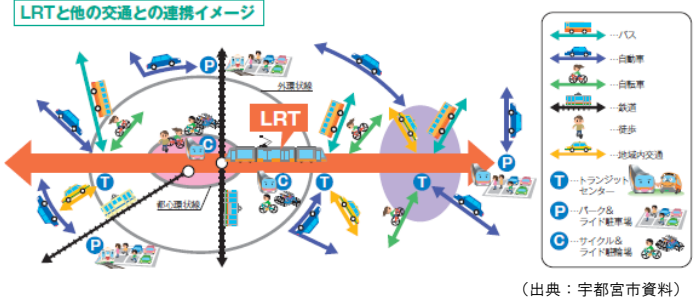
まちなかの歩行者用サインを統一

携帯用観光マップも統一

(出典：ロンドン市交通局資料)

視点②：LRT、BRTなどの新しい交通システムの導入

参考事例1 将来のまちづくりと公共交通ネットワークの構築に向けたLRTの導入検討（宇都宮市）



[海外事例]



LRT/ストラスプール

参考事例2 バス路線の見直し・効率化に向けたBRTの導入検討（新潟市）



[海外事例]



BRT/リオ

(出典：新潟市資料)

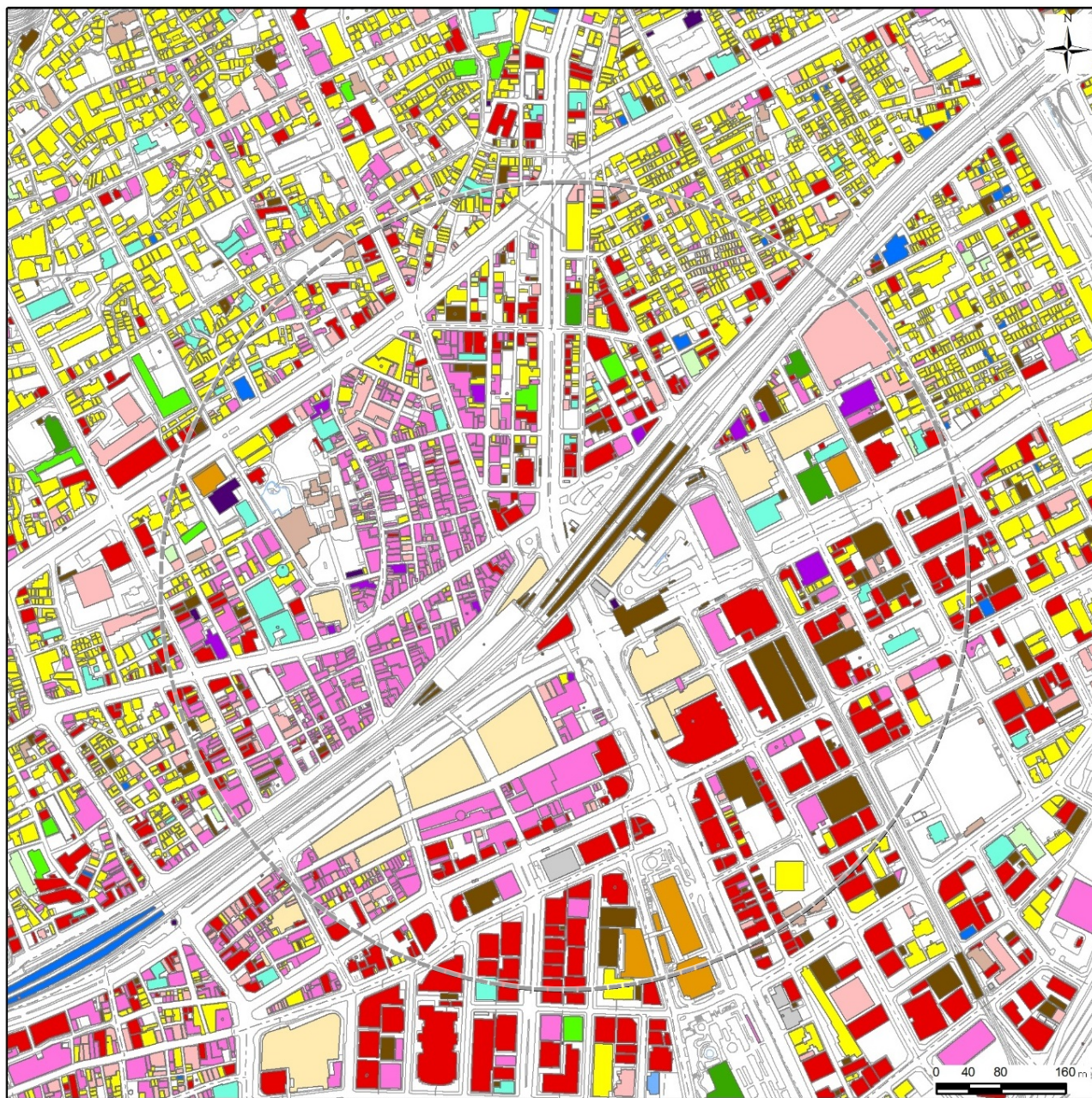
■まちづくりの方針（案）ごとの参考事例

方針3 神戸の魅力アピールする多様な都市機能の集積（ひとを誘う个性的なまち）

◇論点◇ 三宮で目指すべき都市像とは、どのような都市活動が行われるまちを目指すのか

参考：現在の三宮周辺地区の土地利用

○北西エリア：商業・娯楽系の施設 ○南西エリア：商業・業務系の機能が多く見られる
 ○北東エリア：業務、商業、住宅など多機能が混在している ○南東エリア：業務系の機能が集積している
 ※南西エリアを除いては、駅を中心におよそ500m圏外には住宅系が広がっている



凡例

【建物用途】	業務施設	娯楽・遊戯施設	保安施設	宗教施設・記念施設・運動施設
不明	集合販売施設	工業施設	通信施設	医療・保健施設
独立・集合住宅	一般店舗・サービス商業施設	運輸・流通施設	学校・各種教育施設	供給・処理施設
商業・業務兼用住宅	宿泊施設	自治体行政施設	研究・文化施設	その他の施設

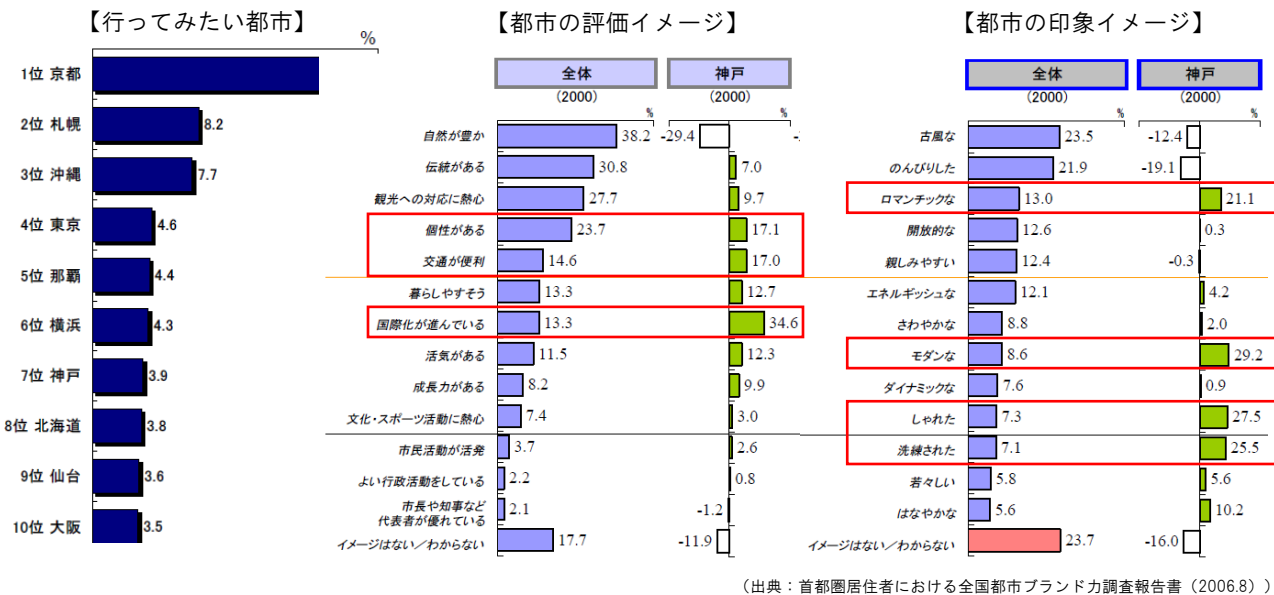
(出典：神戸市土地利用調査をもとに作成)

キーワード：まちの在り方
 ⇒視点①：神戸の拠点としての三宮の在り方、社会・経済の変化に柔軟に対応できるような流動性のあるまちの実現
 キーワード：にぎわい、業務、住みやすさ、歴史・資源、国際化、医療連携
 ⇒視点②：神戸の拠点となり三宮周辺地区を牽引する駅中心エリアと神戸の魅力アピールする個性ある周辺エリア

視点①②：外から見た神戸のイメージ

○外から見た神戸の印象は、「モダン」「しゃれた」「洗練された」「ロマンチック」

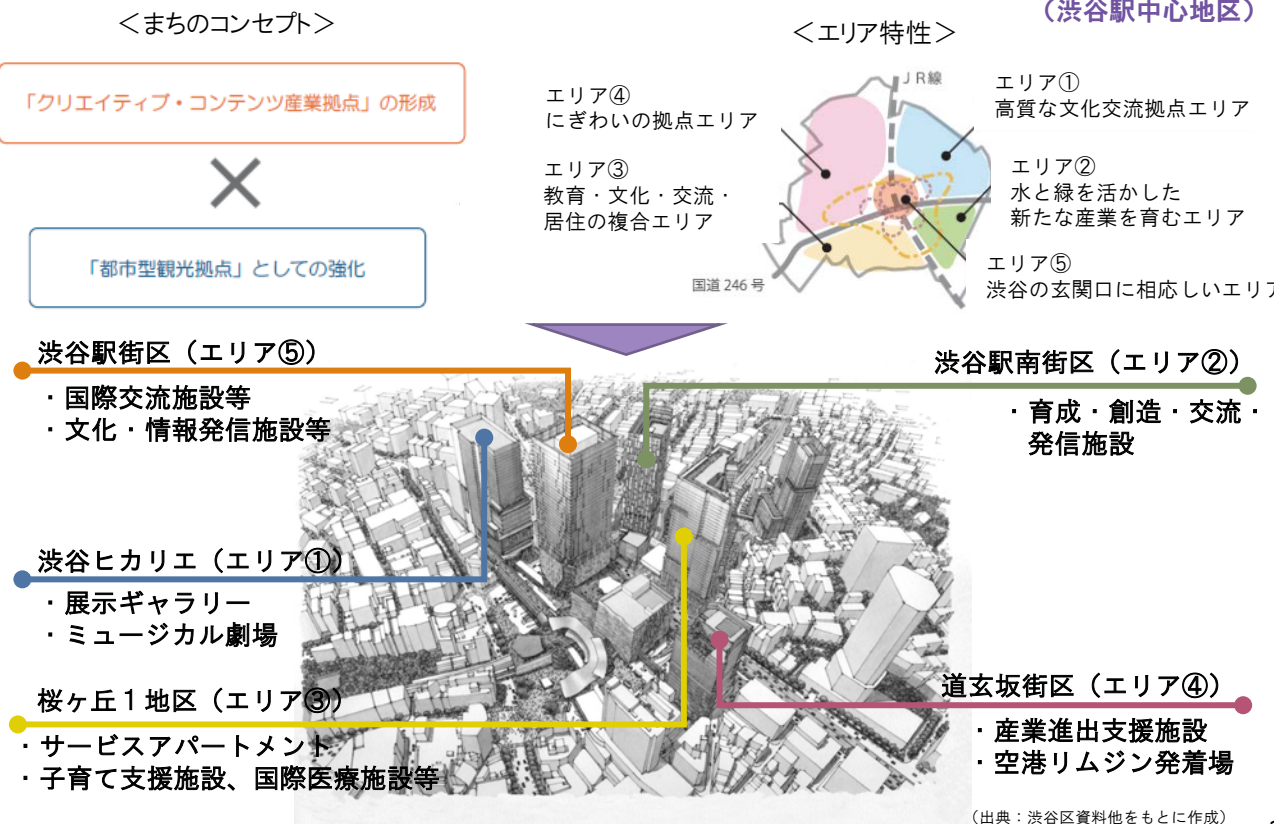
・首都圏に居住する20代～60代に対して行った全国都市ブランド調査結果（サンプル数2000）



(出典：首都圏居住者における全国都市ブランド力調査報告書(2006.8))

視点①②：特色ある都市機能の集積

■参考事例) まちのコンセプトを周辺土地利用の特色に合わせて実現するための都市機能の配置 (渋谷駅中心地区)



(出典：渋谷区資料をもとに作成)

■まちづくりの方針（案）ごとの参考事例

方針4 市民が愛着や誇りをもてる神戸らしい景観形成（ひとが海・山を感じ、歴史をつなぐまち）

◇論点◇ デザイン都市神戸として望まれる景観とは、景観誘導の方策とは

視点①：神戸の玄関口として、神戸らしさを発信する景観づくり

●特色ある景観を有する街並みの事例

■参考事例1）日本を代表するターミナル周辺の景観



大阪



東京

■参考事例2）海外の特色ある街並み

- ・デザインが統一された街並み
- ・壁面位置およびスカイラインの統一
- ・活力のある新しい街並み

ブリュージュ（ベルギー）

パリ

シンガポール

■参考事例3）まちのシンボルとなる駅空間

- ・新しいまちの広場
- ・伝統技術を活かした個性あるデザイン
- ・設計コンペの実施による高いデザイン性

ベルリン中央駅

金沢駅

熊本駅

■参考事例4）世界中から人が訪れる夜間景観の演出（都市の個性を活かした夜間景観の創出）

- ・近景も遠景も美しい夜間景観
- ・遠景からのビューが魅力的な夜間景観
- ・歩きたくなる低層部重視の夜間景観

シンガポール

モナコ

ベネチア

キーワード：デザイン性、シンボル ⇒視点①：デザイン都市神戸の魅力発信としての景観づくり
 キーワード：神戸らしさ、海と山 ⇒視点②：海や山などの自然および歴史・文化など神戸らしさを体感できる景観づくり
 キーワード：夜間景観 ⇒視点③：神戸ならではの美しい夜間景観の創出

視点②③：神戸らしさを体感し、記憶に刻む景観づくり（海・山、歴史・文化、夜間景観など）

●特色ある沿道景観や夜景景観に配慮した街並み事例

■参考事例1）世界に誇る風格ある街路デザイン（パリ）

・1989年に市長直属の「ミッション・シャン・ゼリゼ」が設置され、公共空間の再生（駐車場の地下化、2列の植栽）、建物ファサードの規制、伝統的業種の維持（映画館やホテルの誘致）を基本整備方針として定め、美しい街路デザインを維持している



■参考事例2）風格ある街路デザインと港への視線の確保（横浜市 日本大通り）

・横浜公園と海を結ぶ関内地区の目抜き通り、沿道には県庁や横浜港郵便局、横浜開港資料館などの歴史的な外観を持つ建築物が並んでいる ⇒道路幅員はおおむね35m(2車線、両側歩道) ※フラワーロードの幅員:約50m

○ 街路デザインの特徴

落ち着いた色彩で統一されたストリートファニチャー

目抜き通りにふさわしい重厚な素材の舗装

一体の構造物としてデザインされた街路照と歩行者用の信号

平成17年度の社会実験を経てオープンカフェの運営が継続

周囲の景観に馴染む車止めとプラント

まとめて配置されている電力の地上機器

家の鼻パーク開設により海までの見通しが可能となった

道路のつきあたりには港を感じられる公園が整備されている

（出典：甲府駅南口周辺地域修景計画公共施設のデザイン事例集）

■参考事例3）街の魅力を感じられる眺望スポットの整備

・都市が一望できる眺望空間は来街者が訪れる人気スポットや観光名所にもなっている



六本木ヒルズ



ミッドランドスクエア（名古屋）

■まちづくりの方針（案）ごとの参考事例

方針5 持続的なまちづくりを支える仕組み・体制の構築（ひとが支え、まもり育てるまち）

◇論点◇ 三宮にふさわしいエリアマネジメントの仕組みおよびそこで行うべき活動とは

視点①②③：エリアマネジメント・官民連携によるまちづくり

■参考事例1）福岡天神地区におけるエリアマネジメント等によるまちづくり

■天神地区のまちづくり団体の概要



……まちづくり計画の策定・研究、これにもとづくソフト事業を中心に実施

……ビル建替えを契機として、地権者との共働でハード事業を中心に魅力的で事業競争力が高いまちづくりを推進

■ビル建替えが展望される明治通り沿道地区でのまちづくり誘導

- ・天神地区のメインストリートの1つである明治通り沿道地区では、ビルの老朽化等により建替え機運上昇
- ・建替えを契機に同地区を「アジアで最も創造的なビジネス街」をめざし、建替え事業者等による「天神明治通り街づくり協議会」を組織化

●まちづくりの方針

- 1)沿道景観の創出
- 2)快適で高質な歩行者空間の整備
- 3)都市機能の再構築
- 4)交通体系の再編
- 5)環境との共生
- 6)安全・安心の向上

●まちづくりの方針を実現するための「街の共用部」

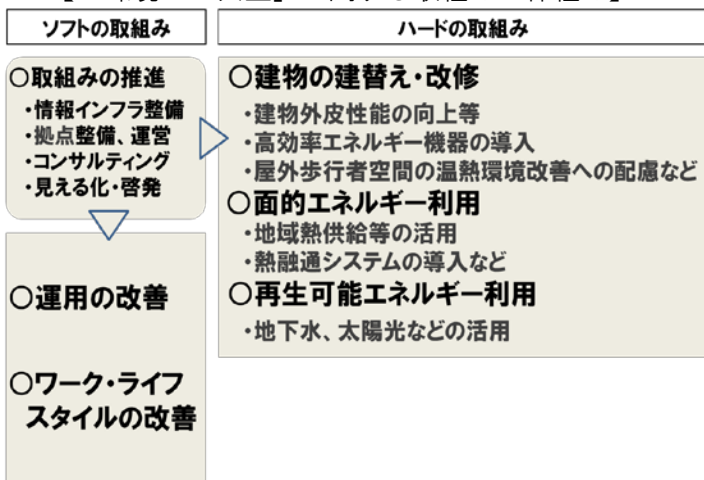
- ・ビルの概ね地下2階～地上2階は「街の共用部」として、
創造機能【ワーク（フューチャーセンター）、学習（学校）】
交流機能【宿泊（ホテル）、会議（カンファレンス）、会食（カフェ、レストラン）】
集客機能【利便（生活支援）、ビジネスサポート、文化（美術館、ギャラリー、劇場、ホールなど）、情報（図書館、書店）、インキュベート】

の導入をめざす

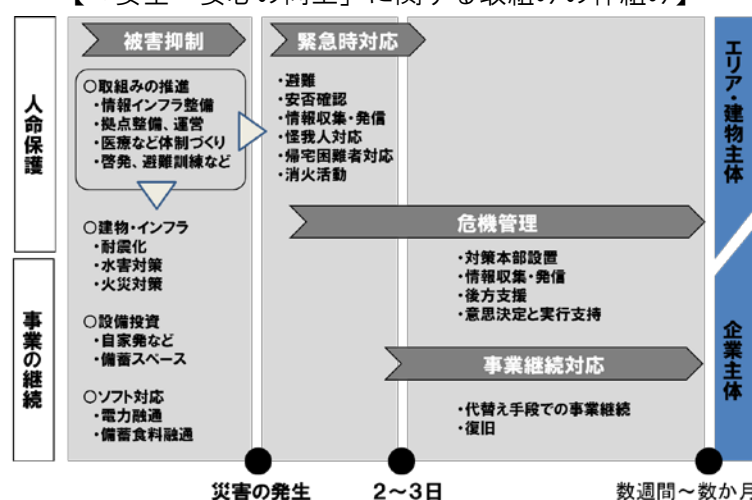
- ・また、道路や地下道から建物内部の可視化を行う

（出典：We Love天神協議会HPをもとに作成）

【「環境との共生」に関する取組みの枠組み】



【「安全・安心の向上」に関する取組みの枠組み】

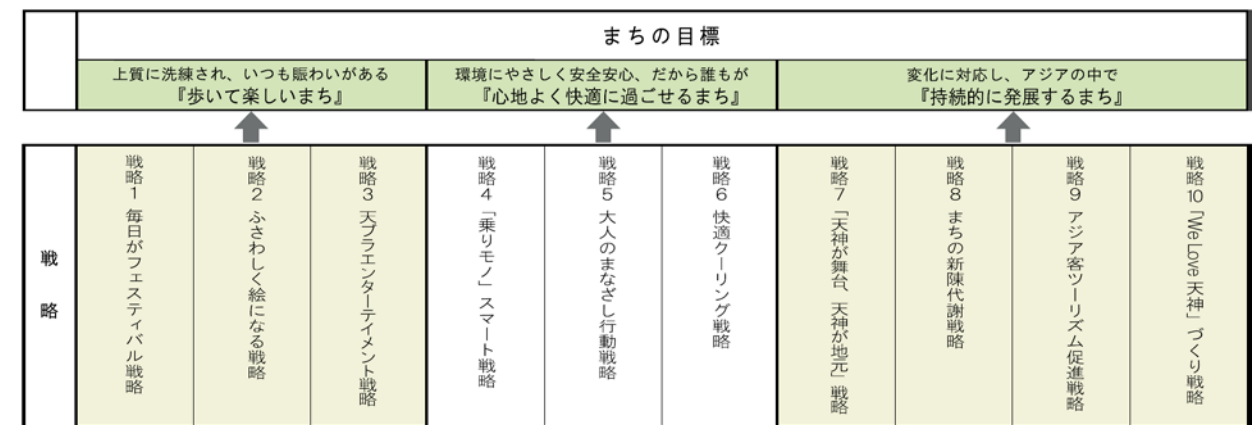


（出典：「福岡天神明治通り地区におけるエネルギー・事業継続マネジメントシステムの構築/平成26年3月、天神明治通り街づくり協議会」）

キーワード：仕組み、維持管理
キーワード：情報発信
キーワード：エネルギー

⇒視点①：エリアマネジメント協議会の立ち上げと官民で協働するまちづくりの推進
⇒視点②：KOBEBRANDを国内外に広報・PRする取組みの強化
⇒視点③：エネルギーマネジメント構築によるスマートシティへの取組み

■天神地区のまちづくりの目標と10の戦略（We love天神協議会策定の「天神まちづくりガイドライン」より）



【街の共用部のイメージ】

